何が起こり得ていたか……単命の成功の原因=

そして、それらの事変は最大の注意を持って研究されるべきである。として、それらの事変は最大の注意を持って研究されるべきである。として、それらの事変は、革命が歴史の現時代に、発展した国でいかにしての議論が非常に少ししかない、ということは私を驚かす。五月一六月の事変は、革命が歴史の現時代に、発展した国でいかにして成立の事変は、革命が歴史の現時代に、発展した国でいかにして成功の事変は、革命が歴史の現時代に、発展した国でいかにして成功のならず、世界中のいかなる工業化された国にもあてはまる。なぜなら、フランスで起こったことは入を驚かす。五月一六月の反乱がいかにして成功的な社会革命に発展明し得るか、ということについての最初の真に明白な提示であり、ということについての最初の真に明白な提示であり、

の抜粋である。(注)これは、五月―六月の事変の後すぐに書かれたある手紙から

は怒って大声をはりあげる。「畜生、話せ!俺はお前達の代表だぞ 尋ねるごとに、ストライキ者達は沈黙で答える。 の延長か。」このスターリニストの下働きがこれらの質問の一つを 何を欲するのだ」彼は叫ぶ。「賃上げか。労働時間の短縮か。 達に向って話しかけているCGTの役員を示している。 して、 をつかした、そして、 に起こった、ということを私は指摘する。直観的に、無意識に、そ 故のみならず、 六月の事変の後、フランスで出版された風刺画は、 ゼネ・ストは、フランスに山積みしていつつあった賃金の不平 しばしば意識的に、ストライキ者達は全体のシステムに愛想 ストライキの労働者達は破れんばかりの大声で答える 私の意見では主に-彼等はそのことを無数の方法で示した。五月 人々がうんざりしていたが故ていつつあった賃金の不平の 遂に、CGT役員 ストライキ者 「お前達は 休暇

俺達は革命を望む!」

感じていたところのものを表現した。 を端なまで、この応答は的確である。風刺画は、勿論、なお非常極端なまで、この応答は的確である。それは、多くの労働者(特に青年労働に人気になった理由である。それは、多くの労働者(特に青年労働に人気になった理由である。それは、多くの労働者(特に青年労働を端なまで、この応答は的確である。風刺画は、勿論、なお非常極端なまで、この応答は的確である。風刺画は、勿論、なお非常

どあらゆる階級線を横断するところの人民のストライキであった。た。それは単なる労働者のストライキではなかった。それはほとん た。そう、フットボール選手でさえも彼等の職業協会の建物を占拠 港湾労働者はストライキの労働者に食料を与えるために船倉を空に 我の時代の可能性についての極めて重要な事実であるから。ナント 専門職業者、教師、科学研究者等は勿論のこと、ストライキをやっ スで最強のアナルコ=サンディカリズムの傾向を持った都市、 生がそれをなし得るならば、我々もそうできる。」そして、フラン ストを結実させた。労働者(主に青年労働者)は言った、「もし学 した。もっとも進んだ要求は新しい産業―例えば、電子工場 では、農民は運動を助けるために市中にトラクターを持ち込んだし、 あなたはこのことを理解しなければならない。なぜなら、それは我 人をその波であらった。保険勧誘員が、郵便局員、百貨店員、知的 トのシド・アビュアション工場からゼネ・ストが起こった。ストラ キはパリに波及し、産業労働者のみならず、ほとんどあらゆる人 「フットボールは人民に属する!」と宣言するのぼりをかかげ た、ということを私は強調する。そのような工場の一つ、 十日の学生のバリケ ドはゼネ・スト、 歴史上最大のゼネ 一で起 ナン

> に熟練した技術者から大部分構成される会社では、従業員は公然と に熟練した技術者から大部分構成される会社では、従業員は公然と 間者管理、そして、我々の工場のみならず、フランス中のすべての 働者管理、そして、我々の工場のみならず、フランス中のすべての 電業の労働者管理。」

産活動の舞台、つまり生活の手段がつくられる場所で、それを得る。 働者集会によって決定されたであろうが故に、「運営する」を強調 は工場を運営するために工場内の労働者の間から工場委員会を選ん何が起こっていたかを今や我々は想像することを試みよう。各工場 況への鍵であった。労働者は工場を占拠した。経済は彼等の手 であった)。あらゆる地方の工場の工場委員会は、その機能が、 たろう。ここで我々は、真の革命的デモクラシーを得る。しかも生 する。工場委員会は単にこれらの政策を実行し、調整するだけだっ あろう。)私は、政策が工場内の労働者によって、工場の床上の労 だだろう。(ここでは労働者は、そのほとんどが革命の側に投じて いたならば、反乱は全面的な社会革命に進んでしまっていただろう。 あった。労働者が労働者の管理の下で工場を運営し始めてしまって うか―にかかっていた。これは乗り越えられねばならない障害物で つの事―労働者は工場を占拠するのみならず、工場を運営するかど あった。この大々的な運動が完全な社会革命になるかどうかは、一 いただろう技術陣から非常に多くの協力を当にすることができたで もし労働者が実際にこの障害物を乗り越えてしまっていたならば 先へ進むことにしよう(私が叙述するところのものは完全に可能 何と驚嘆すべき発展であることか!それにこの要求はまさに全情

とえいかなる供給問題が存在しても、それを処理できただろうとことえいかなる供給問題が存在しても、それを処理できただろう。とうし、評議会の委員は可能な限りしばしば回転されたであろう。その技術的機能の多くはコンピューターに引き継がれたであろう。その技術的機能の多くはコンピューターに引き継がれたであろう。その技術的機能の多くはコンピューターに引き継がれたであろう。その技術的機能の多くはコンピューターに引き継がれたであろう。その技術的機能の多くはコンピューターに引き継がれたであろうとことを負し、評議会の委員は可能な限りしばしば回転されたであろう、とうし、評議会の委員は可能な限りしばしば回転されたであろう、とうに、評議会の委員は可能な限りしばしば回転されたであろう、とうし、評議会の委員は可能な限りしばしば回転されたであろう、とうし、評議会の委員は可能な限りしばしば回転されたである。

ここで基本的に重要なことは、実際に働いたであろうこの組織体

部はあらゆる委員会や評議会を集会に直接責任を負うものとするこ ど偶然的に生じた。ギリシャの人民会議はさておき、集会は、ほと ことを自由にすることによって、今や避けられ得る。 業技術を用いること、それ故、人民が社会の管理に活発に参加する とによって、一部は週労働時間を根本的に短縮するために新しい工 速に獲得したところの発生期の国家装置になった。このことは、一 社会的代行になった。それらは全体としての社会を支配する力を急 員会や評議会は社会を支配する莫大な政治権力を発揮するところの 糊としていたか、あるいは、単に存在しなかった。結果として、委 られていた。管理の仕事と政策決定の間の境界はもっともよくて模 議会や委員会は政策を公式化することで、非常に大きな権力を与え 囲の条件の結果として生じた。普通、過去の諸革命のいろいろな評 ていたので、集会は、それが存在したところではどこでも、ほとん 制」の考えが革命グループや人々の思想の内に非常に強く固定され 係と大衆集会の役割と重要性について払われてこなかった。「代表 消である。過去には、非常に少しの注意しか、非媒介的、直接的 んどの場合、意識的な計画の結果としてではなく、むしろ幸運な周 の厳密な細部ではなくて、権力の工場集会と近隣集会の両方への解

ブル、電話等のネットワークは、革命後も再び用いられただろう。致させるために、供給と分配の現存するメカニズムを用いただろう。は、大って動かされる同じ鉄道、及びトラックによってパリに運ばれたよって動かされる同じ鉄道、及びトラックによってパリに運ばれたよって動かされる同じ鉄道、及びトラックによってパリに運ばれたよって動かされる同じ鉄道、及びトラックによってパリに運ばれたよっであろう。材料を要求するために、革命後も再び用いられただろう。母させる大学である。

資本主義よ、いかなる国家支量もないで、仕会と連手であったろう。理的な使用に導いただろう諸変更を提起することであったろう。だろう―金銭登録器は除去されただろう、ということは例外である。だろう―金銭登録器は除去されただろう、ということは例外である。最後に、仕上り製品は、同じ卸売及び小売販路によって分配された最後に、仕上り製品は、同じ卸売及び小売販路によって分配された

「所有(財産)の尊厳」の真の意味である。) 資本主義は、いかなる国家装置もなしで、社会を維持するために資本主義は、いかなる国家装置もなしで、社会を維持するために、資本主義は、いかなる国家装置もなしで、社会を維持するために、資本主義は、いかなる国家装置もなしで、社会を維持するために、資本主義は、いかなる国家装置もなしで、社会を維持するために資本主義は、いかなる国家装置もなしで、社会を維持するために

ってリコールされ得るものであるが―を通して、運営機能を調整してリコールされ得るものであるが―を通して、運営機能を調整し場ただろう。これらの人々は生産的仕事で彼等の兄弟姉妹と結合し得ただろう。この新しいシステムでは、生産者と共同体は経済を下から共同して管理支配し得ただろうし、工場委員会、工場委員会下から共同して管理支配し得ただろうし、工場委員会、工場委員会下から共同して管理支配し得ただろうし、工場委員会、工場委員会下から共同して管理支配し得ただろうし、工場委員会下から共同して管理支配し得ただろうし、工場委員会下から共同して管理支配し得ただろうし、工場委員会下から共同して管理支配し得ただろうし、工場委員会、工場委員会であるが一を通して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整して、運営機能を調整しただろう。

消滅することができる。 の国家、国家の官僚制、国家の軍隊、警察、裁判官と刑務所等は のの事務の直接的支配力を得る。 は、これである。この時点で、社会は社会的諸務の直接的支配力を得

の計画は、閉鎖されるべきである工場、及びその働きが拡大される格を持った専門家の一部門が鉄工業における諸変更を提起するために確立される、と考えてみよう。この部門は国中のいろいろな部分でいくらかの工場を閉鎖し、他のいくらかの工場の働きを拡大することによって工業を合理化する計画を提出する、と我々は考えてもよい。これは「中央集権化された」組織体であるか、それともそうでないか。答えはイエスでもありノーでもある。その部門が全体としての国に関係する問題を処理する、という意味においてのみイエスである。その部門が、全体としての国のために実行されなばならないところのいかなる決定もしないが故に、ノーである。その部門が、全体としての国のために実行されなばならないところのいかなる決定もしないが故に、ノーである。その部門が、全体としての国のために実行されなばならないところのいかなる決定もしないが故に、ノーである。その部門が、全体としての国のために実行されなばなら、と考えてみよう。この部門は国中のいろいろないのといると表するという。

-152-

等が住む地域によって統制される。 あるかも知れない。それは単に勧告を差出すだけである。それに加力ももっていない。それは単に勧告を差出すだけである。それに加合りは受け入れられたり、修正されたり、あるいは、単に拒否されてきである工場の全労働者によって、調べられねばならない。計画べきである工場の全労働者によって、調べられねばならない。計画

なければならない点―にまで達せられなかった。 なければならない点―にまで達せられなかった。 ましいかな、情況は決してこの点―あらゆる革命が敢行しころだ。悲しいかな、情況は決してこの点―あらゆる革命が敢行しころだ。 ましいかな、情況は決してこの点―あらゆる革命が敢行しころだ。 ましいかな、情況は決してこの点―あらゆる革命が敢行しなければならない点―にまで達せられなかった。

することによって、革命運動を政治的方向に鋭く曲げた。このよう 者が工場を働かせ、ストライキ委員会を工場委員会に変えることで 達の眼前に迫った現実について書く。必要であったすべては、労働 た、ということを再び強調したい。私はここで、フランスの革命家 性を持っていた。他方、革命は失敗によって蒸発させられてしまっ ると、彼等はドーゴールに投票した。ドーゴールは少なくとも現実 彼等は待機し、次のように言っているように思えた。「お前達がな のだったなら、 」をつくった。これらの人々は、もし革命が成功してしまっていた ることによって、監視し、待ち構えていた多数の人々からの り変えられた。あれこれの理由で、反乱は後退し、そして、 に、斗争はまさにブルジョア的な土俵での選挙キャンペーンにすり されなかったし、所有関係のブルジョア的システムは粉砕されなか あった。この決定的な一歩はとられなかった。それ故、人民は武装 し得るところのものを見よう。」しかしながら、一度反乱が失敗す った。スターリニストは共産主義者と社会主義者の連立内閣を要求 私があなたのために素描したところのすべては完全に可能であ 革命の側に引きつけられていたかも知れなかった。 そうす 「がた 2

望んだか。 ようと試みつつあった時であった。しかし、一体全体、 CGTが労働者に重荷として負わせたところの官僚的装置を脱却し は、もっとも革命的な労働者がCGTと厳しい斗争を続行中であり 毛主義者は、「CGT万歳」と読める大きなのぼりを運んだ―これ ルノーのビトンクール工場への進軍(長征と彼等は言う)に際して 権力を獲得する」ことである、と毛主義者はさけんだ。このように、 向」である―という意見だったのであった。労働者の任務は「国家 退した後、彼等の考えを逆転し始めた。そして、彼等は今や「アナ やグループは、どのように行動したか。毛沢東主義者は労働者の支 い抽象的な政治スローガンに代替された。あなたに一例を示したい 配はアナルコ=サンジカリズムである―それ故、「プチ=ブル的偏 ルコ=毛沢東主義者!」と呼ばれている。)毛主席は、 配のあらゆる要求に反対した。(彼等の内のいくらかは、革命が後 「ボルシェヴィキ的現実主義」の名の基に、社会革命の唯一の基礎 毛沢東主義者やトロッキスト、つまりボルシェヴィキ「前衛」党 工場の占拠―は、 生きた情況においてはいかなる現実性も持たな 誰が彼等を 労働者の支

のバリケード戦で、それらの事(=「冒険主義的」、「ロマンチズ生を「ロマンチズム的」として批難した。学生は、FERが学生を情報を演じた。そして、ゼネ・ストに導いたところのすべての街頭役割を演じた。そして、ゼネ・ストに導いたところのすべての街頭役割を演じた。そして、ゼネ・ストに導いたところのすべての街頭で、FERが学生を帰たせようと試みたところのソルボンヌ前の街頭戦で、FERが学生を帰たせようと試みたところのソルボンヌ前の街頭戦で、FERが学生を帰ります。どのトロッキスト―JCR(革命的共産

よってソルボンヌに多大の混乱をつくり出した。五月―六月の事変は、たいてい、彼等は自分達の足をひきずり、そして、政治工作には、たいてい、彼等は自分達の足をひきずり、そして、政治工作には、たいてい、彼等は自分達の足をひきずり、そして、政治工作には、たいてい、彼等は自分達の足をひきずり、そして、政治工作には、たいてい、彼等は自分達の足をひきずり、そして、政治工作にが終りに向うと、JCRは運動から尻込みし、そして、非スターリが終りに向うと、JCRは運動から尻込みし、そして、非スターリンストの選挙左翼と和解した。

五月―六月の事変には何が「欠けていた」か。確かに、「前衛」がルシェヴィキ党ではなかった。反乱はこれらの党によってしらからない、ということの労働者の間における自覚であった。別な言い方をすれば、反乱が欠如していたものは、この意識を労働者の中に方をすれば、反乱が欠如していたものは、この意識を労働者の中に分とした三月二二日運動か、行動委員会のどちらかに似たものになるべきであったろう。反乱前にこれらの運動が発展してしまっていたのであったならば、事変は異なった方向を取っていたかも知れない。ともかく、共産主義者は、反乱をゆがめ、遂にはそれを破壊するためにドーゴールと結託した。

が書いてきたことを読めば、なぜアメリカにおけるマルクス・レー私の意見では、これらのことは五月―六月の真の教訓である。私

すべてに にマな 者 戦ルか しクつ スた ・かラン い・か 1 非ス 義 白 1になる。 0 事 プロジ グ グラそ 4 h 5 0 0 記

一九六八年七月

TO THE IS IN

-154-